

## 福生市人口ビジョン及び総合戦略(素案)に関する意見

### 市民意見

実施期間 平成28年1月7日(木)～21日(木)

提出人数 1名 1件

提出方法 メール 1名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>P55 教育施策分野 福生市の小中学校の学力は、東京都の中でも下から何番目という状況であります。実際は統計で出ているため%での表示で何番とは言い切れませんが、「文部省の学力テストの正答率70%を目指す」などの具体的な目標があった方がよいのではないかと思います。できれば誰にでもわかりやすく「全国トップ10」「東京都トップ10」などの目標がベストです。福生市の小中学校の成績が上がることで、福生の小中学校、さらには保育園、幼稚園に入れたいと考える若い生産世代が増えていくと思われます。教育に力を入れることこそが、生産世代に定住また移住してもらうための唯一の方法だと思います。どこかの市町村がやっている、移住者に金銭を渡す、住居を提供するという事はソフトウェアの入っていないパソコンを渡しているに過ぎないと思います。魅力のあるソフト(教育)があるから福生市に住もうと思うわけです。福生市で教育を受けさせたいと思ったときに引越し代金や住宅の提供をすることで福生市への移住・定住を促進するものだと思います。</p> <p>町おこし的なことよりも教育、学力と考える親は多いと思います。事実、以前私が勤めていた福生病院の医師の方々、子供が出来ると都内へと引っ越されている方が多く、福生市に残ると聞いたことがありません。収入の高い人ほど、都内へと移転しているように思われます。(素案)のP35にあるように、子供の将来を考えると小学校への入学前にと考えるのは自然なことではないかと思います。子育て世代の流出を防ぐ、そして子育て世代の家族に移転してきてもらうためには、小学校・中学校の学力目標を数値化する必要があると考えます。また、学力を向上させるためには、乳幼児期からの教育が大切ではないかとも思います。現代では様々な保育理論があるにもかかわらず福生市の保育園すべてが、いまだに設定保育を実施している。隣の羽村市では、保育園ごとに様々な保育理論を取り入れて実践している。このように乳幼児期からの教育を考えて取り組むか否かで将来の福生市の人口ビジョンが大きく変わっていくのではないかと思います。</p>	<p>児童・生徒に確かな学力を育てることはもとより「知・徳・体」バランスよく育むことは、学校教育の普遍的な課題です。その中で、御指摘いただきました国の学力状況調査については、本市の児童・生徒の学力の状況を把握し、それを踏まえた授業改善を行うためにこれまでも積極的に参加し、活用してまいりました。具体的には、調査結果を分析し、教職員向けのリーフレット「平成27年度全国学力・学習状況調査の結果」や、保護者向けリーフレット「家庭での働きかけで学力アップを」等を作成し、配布・活用することを通じて、本市の児童・生徒の学力向上に取り組んでおります。また、平成28年3月を目途として「福生市立学校の学力向上策(仮称)」を策定し、計画的・継続的に学力向上策を推進してまいります。</p> <p>御提案いただきました、「文部省の学力テストの正答率70%を目指すなどの具体的な目標があった方がよい」については、本総合戦略は、近隣市にはない、福生ならではの特色ある学校教育を示すことで「魅力ある学校づくり」をアピールするという方針で作成いたしました。学力の向上については都内いずれの学校においても最重要課題としてその改善に取り組むべき課題であることや、「正答率70%を目標として設定する」根拠について様々な観点から検討が必要であることから、本総合戦略には掲載を想定しておりません。前述した「福生市立学校の学力向上策(仮称)」の中で、具体的な行動計画を明示してまいりますので、御理解をお願いします。</p> <p>また、市内の保育園では、各保育園が定める保育の方針、目標に基づいた保育課程を編成して、保育が行われております。また、様々な保育理論の中で、どの理論を採用するかについても、各園の方針で決めておりますので、保育理論の採用や実践については総合戦略に盛り込むことはそぐわないと考えます。市としては指導検査等で、各園の保育の状況について一定の水準が図られるよう努めてまいります。</p>